

# 現代における子どもと音楽とのかかわり

## —4、5歳児の保護者へのアンケート調査結果から— 《概要》

2013年

### 【調査目的】

本調査の目的は、現代における子どもと音楽とのかかわりを多角的にとらえ、子どもの音楽生活や音楽を取り巻く環境の実態と、保護者の考え方を把握することです。調査レポートは、2011年調査結果と2013年の調査結果との比較分析を試み、経年変化について考察しています。

### 【調査概要】

企画・調査：ヤマハ音楽研究所 研究開発室

調査実務：一部NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社へ委託

調査期間：①2011年2月3日～10日 ②2013年3月4～10日

調査方式：gooリサーチを通じたインターネット調査

調査対象：4歳児または5歳児の保護者 ①1,042名 ②1,030名

調査項目：【音楽活動】家庭での音楽活動／家庭で音楽を聴くときに使用する機器／子どもが家庭で親しんでいる楽器／よく聴く音楽のジャンル／同居家族の音楽体験／家庭、幼稚園、保育所等以外での音楽イベントやコンサートへの参加機会

【習い事】(0歳～4、5歳まで)ある習い事を開始した年齢／(4、5歳以降)ある習い事を開始したいと考える年齢／習い事にかかる費用 ほか

### 【調査レポートの構成】

1. アンケート調査の概要
2. 社会的背景とその変化
3. 現代における子どもと音楽
  3. 1. 家庭における子どもの音楽活動
  3. 2. 保護者の音楽活動
  3. 3. 親子の音楽的嗜好
  3. 4. 親子の音楽活動の場と機会
  3. 5. 子どもの習い事と音楽

### 【結果概要】

2011年調査から2013年調査が実施されるまでの間、東日本大震災という大災害が起こり、日本社会の在り方、政治・経済の方向性、家族との時間や余暇の過ごし方をめぐる価値観など多方面に影響を及ぼしました。本調査結果からは震災による具体的かつ大きな影響はみられませんが、調査レポートは子育てや教育、音楽をめぐる現状についていくつかの傾向を指摘しています。特にスマートフォンの普及による音楽聴取の多様化は、今後もいっそう進むと考えられるでしょう。